

有限会社森廣テック

■事業

3DCADと形鋼切断機の導入による 生産性と品質の向上

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

形鋼バンドソー HK700

明治期に鍛冶屋として創業 高技術短納期で地元シェア独占

【経営理念】

創業から100年をこえた今でも、良質な製品を造り続けることが、私たち職人のプライドです。先人たちが技術を積み重ね育ててきた鉄文化は私たちの誇りです。お客様のご要望にお応えし、高品質な鉄製品を職人の手づくりあげ、世に生み出すことで社会のインフラ整備に貢献いたします。

100余年前、鎌や鋏(くわ)、包丁などを製作する鍛冶屋として創業した有限会社森廣テック。時代の要請を受ける形で、建築関係のトラス梁(はり)や、手すり等を現場出張などで手掛ける鉄骨建築業として発展し、現在は工場や倉庫、プレハブなどの建物のほか、ガルバリウム鋼板の屋根や壁、公園遊具の修繕なども行っている。日本の鉄文化を支えた拠点地域の一つで育まれてきた職人の技術力は、今もお高品質の鉄製品づくりに生かされている。全国的に鉄骨建築を手掛ける業者が減少する中、確実な仕事を短納期で仕上げる技術力が高い評価を受け、地元の島根県邑智郡邑南町内では9割以上のシェアを占めるほか、近接する地域からの依頼も多い。

リーマンショックの影響で、元請け会社からの仕事が激減してからは、県内中心だった営業範囲を中国地方にまで拡大。広島県や岡山県まで出向くことも少なくなく、約3時間かけて米子市にある野球場のスコアボード改修を担ったことも。「フットワークの軽さがうちの長所。100トンくらいまでの鉄骨であれば、何でも対応しますよ」と3代目の森廣直樹社長は胸を張る。

鉄骨専用3DCAD導入で図面作成時間が大幅短縮 高性能形鋼バンドソーが高精度の作業を実現

森廣テックでは、設計から製作、加工、取り付けまですべて自社で行っているが、これまでネックになっていたのが図面作成や積算などにかかる時間だった。アンカープランや梁伏図、軸組図までは、保有する汎用CADで作成できるが、詳細な部品図(加工図)を書くことはできなかったため、軸組図を引用しながら、手作業で寸法を打ち込んだりして作成せざるを得なかった。頼りにしていた施工図作成専門のスタッフが、視力低下を理由に退職したことも大きな痛手となっていた。そこで鉄骨建築専用の3DCADを導入し、CADを使える新たなスタッフも採用。100トンクラスの建築であれば、1カ月近くかかっていた図面作成がわずか1週間程度で行えるようになり、図面や積算、検査表などの精度も向上した。

さらに本補助金にて角度旋回機構を搭載し



森廣直樹 代表取締役社長



1 導入した形鋼バンドソー
2 工場内の様子(溶接作業)
3 鉄骨建築専用の3DCADで図面を作成するスタッフ

た形鋼バンドソーを導入したことで、任意の角度に旋回位置決めが可能になったほか、切れ曲がりや騒音、振動なども著しく減少。切れ味が向上しただけでなく、切断スピードも旧設備と比較して約2倍になった。切削油剤にオイルミストを採用しているため、材料はもちろん機械や工場が汚れないことも作業効率を向上させた。「鉄骨建築が減少傾向にあるとはいえ、なくなることはない」と森廣社長。設備投資で向上した品質と生産性で顧客からの信頼はさらに強くなって受注も拡大、売り上げは前年度比の約2倍となった。

技術力生かし既存建築の修繕工事に注力 さらなる販路拡大や後継者育成も狙う

今後特に力を入れようと考えているのが、既存建築の修繕・改修工事だ。一から仕上げる新築工事に比べ、現場で実測して図面を描き、取り付けまでを担うため、非常に手間がかかる。嫌がる業者も多いが、森廣社長は「技術力が問われる仕事。新築よりやりがいを感じますよ」と職人気質を見せる。今後はさらなる販路拡大と後継者育成に注力するほか、適時設備投資を進めてラインのスムーズ化を図る。

■Company Data

有限会社森廣テック



会社外観

代表者名：森廣直樹
設立年：1990(平成2)年
資本金：10,000千円
従業員数：5名
主たる業種：鉄骨工事業
本社：〒696-0101 邑智郡邑南町井原1277
電話：0855-95-0352
FAX：0855-95-2216
HP：<https://morihirotec.jimdofree.com/>